

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人

鹿沼市社会福祉協議会



目次

I 適切な法人運営と施設管理

1. 法人運営の確立
 - (1) 会議等の開催 1
 - (2) 会員制度の勸奨 2
2. 効率的で適正な施設管理・運営
 - (1) 総合福祉センターの管理運営 3

II 総合的な福祉事業の推進

1. 福祉啓発の充実・強化
 - (1) 社協だよりの発行 4
 - (2) 第47回鹿沼市社会福祉大会 4
 - (3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞 4
 - (4) 米寿記念品の贈呈 5
 - (5) 啓発物品の配布等 5
2. 関連団体等の育成と連携
 - (1) 福祉団体等の主体的な活動促進 5
 - (2) 市関係部署との連携 6
3. 支援を要する世帯等への支援
 - (1) 生活福祉資金貸付実績 6
 - (2) 社会福祉金庫貸付実績 6
 - (3) 赤い羽根一時給付金 7
 - (4) 災害等見舞金支給実績 7
 - (5) フードバンクによる支援 7
 - (6) 成年後見制度普及啓発等事業 7
 - (7) 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進 8
 - (8) 生活困窮者自立支援事業 8
 - (9) 「子ども食堂ネットワークかぬま」との連携 9
 - (10) ひきこもり家族会 9
 - (11) ひきこもり関連事業への参加 9
 - (12) 鹿沼市生活再建応援事業 9

III 地域福祉活動の推進

1. 地区社協の活動支援と連携促進
 - (1) 第三期地域福祉活動計画の推進 10
 - (2) 地域の主体的な活動促進 10
 - (3) 地区社協間の連携 11
2. 安心生活創造事業（鹿沼市みまもり隊）の受託 11
3. 移送サービス事業 11

IV ふれあいのまちづくり

1. ボランティアの発掘と育成
 - (1) ボランティア団体等の育成とネットワークづくり 12

(2) ボランティア講座の開催と活動促進	1 2
(3) ボランティア団体等への支援	1 3
(4) 福祉機材の貸出	1 4
(5) 善意銀行の運営	1 4
2. ふれあいの心の育成	
(1) ボランティア活動の育成と福祉啓発の促進	1 5
(2) 「CAMP CAMP ちゃんねる」配信スタート	1 5
(3) 各種相談・連絡件数	1 5
V 災害対策事業	
1. 鹿沼市災害ボランティアセンター活動マニュアルの改定	1 6
2. 令和2年7月豪雨災害（九州地方）の対応	1 6
3. 研修・会議等への参加	1 7
4. 災害の記録と継承	1 7
VI 介護と自立支援	
1. 介護保険事業の推進	
(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）	1 8
(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）	1 8
(3) 通所介護事業（デイサービス）	1 9
2. 在宅介護支援センターの運営	1 9
3. 障がい福祉サービス事業の推進	
(1) 居宅介護事業（ホームヘルプサービス）	1 9
(2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業	2 0
VII 養護老人ホーム「千寿荘」の運営	2 1
VIII 障害者支援施設「やまびこ荘」の運営	2 3
IX 高齢者福祉センターの運営	2 5

<参考資料>

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1. 会費（年度別状況） | 2 6 |
| 2. 総合福祉センターの利用状況 | |
| 3. 社会福祉大会表彰受賞者 | |
| 4. ボランティアセンター登録団体 | |
| 5. 共同募金の状況 | |
| 6. 介護保険事業の各種サービスの提供状況 | |
| 7. 障がいサービスの提供状況 | |
| 8. 高齢者福祉センター利用者状況 | |

I. 適切な法人運営と施設管理

各種施策の推進母体としての適切な法人運営と運営基盤の強化を図るとともに、地域の福祉活動拠点として効率的な施設運営に努めた。

1. 法人運営の確立

(1) 会議等の開催

①理事会、評議員会等により適正な法人運営と幅広い情報収集に努めた。

開催日	会 議	出席者数	内 容
4月28日	理事会 (第207回)	書面決議	(1) 理事候補者の推薦について (2) 評議員候補者の推薦について
5月20日	評議員会 (第181回)	書面決議	(1) 理事の選任について
6月12日	理事会 (第208回)	書面決議	(1) 会長及び常務理事の職務の執行状況について【報告】 (2) 令和元年度事業報告の承認について (3) 令和元年度収支予算の承認について (4) 令和2年度第1次補正予算について (5) 定款の一部改正について (6) 常務理事の選定について (7) 評議員候補者の推薦について (8) 評議員選任・解任委員会決議の省略について (9) 第182回定時評議員会決議の省略について
6月12日	定時評議員会 (第182回)	書面決議	(1) 令和元年度事業報告の承認について (2) 令和元年度決算報告書の承認について (3) 令和2年度第1次補正予算について (4) 定款の一部改正について
6月22日	理事会 (第209回)	書面決議	(1) 評議員選任・解任委員の選任について (2) 評議員選任・解任委員の選任について (3) 評議員選任・解任委員の選任について (4) 評議員選任・解任委員の選任について
12月14日	理事会 (第210回)	14名	(1) 令和2年度第2次補正予算の専決処分について【報告】 (2) 令和2年度第3次補正予算の専決処分について【報告】 (3) 職員就業規程等の一部改正の専決処分について【報告】 (4) 会長及び常務理事の職務の執行状況について【報告】 (5) 令和2年度第4次補正予算について (6) 総合福祉センター管理規程の一部改正について (7) 社会福祉金庫における不納欠損について (8) 社会福祉金庫における不納欠損について (9) 社会福祉金庫における不納欠損について (10) 第183回評議員会の開催について
12月22日	評議員会 (第183回)	10名	(1) 令和2年度第2次補正予算の専決処分について【報告】 (2) 令和2年度第3次補正予算の専決処分について【報告】 (3) 職員就業規程等の一部改正の専決処分について【報告】 (4) 令和2年度第4次補正予算について (5) 総合福祉センター管理規程の一部改正について (6) 社会福祉金庫における不納欠損について (7) 社会福祉金庫における不納欠損について

I. 適切な法人運営と施設管理

3月1日	理事会 (第211回)	10名	(8) 社会福祉金庫における不納欠損について (1) 令和2年度第5次補正予算の専決処分について【報告】 (2) 会長及び常務理事の職務の執行状況について【報告】 (3) 令和2年度第6次補正予算について (4) 令和3年度事業計画について (5) 令和3年度収支予算について (6) 在宅介護支援センター受託事業の廃止について (7) 定款の一部改正について (8) 定款施行細則の一部改正について (9) 役員等賠償責任保険契約の締結について (10) 苦情解決相談委員会第三者委員の選任について (11) 評議員候補者の推薦について (12) 令和2年度第3回評議員選任・解任委員会の開催について (13) 第184回評議員会の開催について
3月23日	評議員会 (第184回)	11名	(1) 令和2年度第5次補正予算の専決処分について【報告】 (2) 令和2年度第6次補正予算について (3) 令和3年度事業計画について (4) 令和3年度収支予算について (5) 定款の一部改正について

②監事監査（※コロナの影響により書面送付にて監査を実施）

実施日	監査人	内 容
5月22日	小森基伊、黒本郁夫	令和元年度事業執行状況及び経理状況について

③内部監査の実施（※コロナの影響により各拠点内監査を実施）

実施日	監査人	内 容
2月15日	大貫 宏之	千寿荘の帳簿等各種の管理について
2月18日	青木 一夫	やまびこ荘の帳簿等各種の管理について
2月24日	小池 一也	高齢者福祉センターの帳簿等各種の管理について
2月26日	野口 睦	事務局の帳簿等各種の管理について

(2) 会員制度の勧奨

自治会長や地区社協役員等の関係者の協力により、会員の確保に努めた。

<会費募集結果>

() : 前年度比

会費区分	世帯数 (件)	口数 (口)	計 (円)	
普通会費 (1口 500円)	19,302	19,505	9,768,415	増減なし
賛助会費 (1口 2,000円)	73	73	146,000	(4%増)
特別会費 (1口 3,000円)	28	30	90,000	(6%増)
団体会費 (1口 5,000円)	108	113	565,000	(41%増)
合 計	19,511	19,721	10,569,415	(2%増)

【参考資料 P26】

2. 効率的で適正な施設管理・運営

(1) 総合福祉センターの管理運営

使用料の無料化、利用団体による自主管理及び、福祉団体事務室としての利用や継続利用を許可することで、施設の有効活用を図った。

また、建物北側の外壁や外階段の踏面など設置後30年が経過し破損が著しい箇所の修繕を実施して利用者の利便性の向上を図った。

<会議室等の利用実績> (※コロナの影響により4/1~5/31、1/12~3/31貸出中止) (単位：件、名)

	午前		午後		夜		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
小会議室	26	154	43	289	12	99	81	542
中会議室	238	238	238	238	18	284	494	760
大会議室	54	807	63	839	16	300	133	1,946
和室	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉活動の広場	10	98	23	142	19	230	52	470
生きがい広場	55	552	67	819	11	135	133	1,506
合計	383	1,849	434	2,327	76	1,048	893	5,224

【参考資料 P26】

<団体事務室の利用実績>

団体名	利用日数 (日)
鹿沼市ボランティア連絡協議会	0
つくし会	0
鹿沼市老人クラブ連合会	179
合計	179

II. 総合的な福祉事業の推進

多くの関係団体からの協力と相互連携により、幅広い分野に渡る啓発事業や支援事業を展開し、福祉の心を育むとともに、市民ニーズに対応した総合的な福祉施策を推進した。
 <※当施策は主に共同募金（赤い羽根、歳末助け合い）の配分金を財源として実施した。>

1. 福祉啓発の充実・強化

(1) 「社協だより」の発行

広報紙「かぬま社協だより」を発行し、社協事業の周知を図った。前年度から継続して、団体会員や市内福祉関係機関へ発送することによりPRに努めた。

<「社協だより」の発行状況>

発行部数：毎回 31,200 部（全戸配布）

号 数	発行日	主な掲載内容
第 228 号	6 月 25 日	◇令和 2 年度社協会員加入・会費納入のお願い ◇令和元年度事業報告及び決算報告 ◇令和元年度共同募金の報告 ◇各講座、フードバンクなどの募集
第 229 号	9 月 25 日	◇赤い羽根共同募金運動がスタート ◇新しい募金の「カタチ」の紹介 ◇東部台子ども食堂の紹介 ◇パートナー募集のおしらせ
第 230 号	12 月 25 日	◇コラム ヤングケラー（介護する子どもたち） ◇各地区活動の紹介 ◇善意銀行寄附の報告 ◇各講座、職員の募集
第 231 号	3 月 25 日	◇募金百貨店プロジェクトの紹介 ◇地域で頑張るボランティアの紹介 ◇令和 2 年度赤い羽根共同募金運動結果報告 ◇生活相談・支援センター「のぞみ」からのおしらせ ◇令和 2 年度社協会員・会費のご報告

(2) 第 47 回鹿沼市社会福祉大会

コロナの影響により式典の開催を中止し、受賞者のみに表彰状及び感謝状と記念品を郵送にて贈呈した。

表彰状・感謝状贈呈者の内訳

- ① 大会会長表彰受賞者（合計 9 名・5 団体）
 - ・社会福祉功労者 7 名・5 団体
 - ・自立更生者 2 名
- ② 大会会長感謝状受賞者（合計 16 名・5 団体）
 - ・社会福祉推進者 13 名
 - ・善行協助者・団体 1 団体
 - ・篤行者団体 3 名・4 団体

【参考資料 P26】

(3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞

コロナの影響により各表彰部門における代表者のみが代表で授与することで規模を縮小し開催した。

II. 総合的な福祉事業の推進

◇栃木県民福祉のつどいにおける受賞

開催日 令和2年8月24日

会場 宇都宮市文化会館 大ホール

① 栃木県知事表彰受賞者

- ・老人クラブ又は老人クラブ活動功労者 1団体
- ・共同募金運動協力団体又は協力者 1名
- ・民生委員児童委員 12名
- ・社会福祉施設・団体又はその従事者 1名
- ・国民健康保険事業功労者 1名
- ・ボランティア 1団体
- ・難病支援功労者 1名

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰受賞者

- ・社会福祉施設・団体関係功労者 72名

③ 栃木県共同募金会会長表彰受賞者

- ・共同募金功労者 3名
- ・自立更生者 1名
- ・更生援護功労者 1名

【参考資料 P27, 28】

(4) 米寿記念品の贈呈

満88歳(昭和7年4月2日～昭和8年4月1日の生まれ)を迎えられた高齢者に、赤い羽根共同募金より米寿記念品を郵送にて贈呈した。

◇贈呈者数：578名(男212名・女366名)

(5) 啓発物品の配布等

① 赤い羽根ロゴマーク入り黄色い帽の配布

市内の小学校へ入学する児童を対象に、赤い羽根共同募金運動の啓発や交通安全を目的として赤い羽根ロゴマーク入り黄色い帽子を配布した。

◇配布数：745個

2. 関連団体等の育成と連携

(1) 福祉団体等の主体的な活動促進

関係団体の活動を支援し、自主的な団体活動を促進した。

<支援実績>

区分	支援団体数(団体)	金額(円)
老人福祉団体支援	1	50,000
障害児・者福祉団体支援	5	190,000
母子・父子福祉団体支援	1	50,000
ボランティア団体支援	1	200,000
その他の福祉団体	3	500,000
合計	11	990,000

(2) 市関係部署との連携

サンタ DE メリークリスマス事業や中学校入学応援事業において、障がい福祉課、福祉事務所及び教育委員会との連携を図り事業を実施した。

<サンタ DE メリークリスマス事業実績>

援助対象	援助内容	対象数	単価(円)	金額(円)
①在宅重度知的障害児・者	クリスマスケーキ	48	3,500	168,000
②生活介護施設通所者	援助金(鹿沼共通商品券)	139	3,500	486,500
③あおば園通所児童	おもちゃ券	138	2,000	276,000
合計		325		930,500

※①鹿沼中央ロータリークラブの協力を受けてお届けした。

<中学校入学応援事業実績>

援助対象	援助内容	申請数(件)	金額(円)
①準要保護世帯のうち小学校6年生が在宅している世帯	鹿沼共通商品券 10,000 円とお米等の配布	57	570,000

3. 支援を要する世帯等への支援

各種貸付制度等により低所得世帯等に必要な援助をすることで、自立を促し生活の安定を図った。

(1) 生活福祉資金貸付実績

資金種類	相談件数	借入申請		貸付決定		貸付否決		
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
総合支援資金	生活支援費	7	1	282,000	1	282,000	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	4	0	0	0	0	0	0
	緊急小口資金	3	3	300,000	3	300,000	0	0
	緊急小口資金(特例貸付)	654	654	119,380,000	645	117,680,000	9	1,700,000
	総合支援資金(特例貸付)	656	656	356,040,000	654	354,840,000	2	1,200,000
教育支援資金	教育支援費	4	3	1,116,000	3	1,116,000	0	0
	就学支度費	3	3	223,000	3	223,000	0	0
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0	0
合計	1,331	1,320	477,341,000	1,309	474,441,000	11	2,900,000	

(2) 社会福祉金庫貸付実績

貸付件数(件)	貸付金額(円)
27	540,000

II. 総合的な福祉事業の推進

徴収不能欠損した件数 (件)	徴収不能欠損金額 (円)
3	57,219

償還指導	督促発送(回)	面接(回)	訪問(回)	電話(回)	住所照会(件)
	0	0	0	7	0

(令和3年3月31日現在)

貸付中債権数	貸付債権数(件)	貸付金額(円)
	107	2,063,000

(3) 赤い羽根一時給付金

対象者	単価(円)	給付人数合計(名)
生活に困窮している方	5,000円分商品券	46

(4) 災害等見舞金支給実績

区分	件数(件)	単価(円)	金額(円)
風水害(半壊)	0	5,000	0
風水害(流出)	0	10,000	0
風水害(床上浸水)	0	5,000	0
風水害(弔慰金)	0	10,000	0
火災(半焼)	0	10,000	0
火災(全焼)	2	20,000	40,000
火災(半壊)	1	5,000	5,000
火災(全壊)	0	10,000	0
火災(弔慰金)	0	10,000	0
合計	3	-	45,000

(5) フードバンクによる支援

市民の方々からご寄付していただいた食品を、生活困窮世帯に対して無償で食糧を提供する「フードバンク」事業を行った。

	件数	米	食料
食品の寄贈	359件	2,031kg	2,392kg
食品の配布先	315件	1,479kg	2,086kg

(6) 成年後見制度普及啓発等事業

判断能力が不十分で、意思決定が困難な方の判断能力を補う成年後見制度における法人後見事業(鹿沼市社会福祉協議会が成年後見人等を受任すること)を実施した。

なお、令和2年度はコロナの影響により、成年後見制度普及啓発講座の開催を中止した。

○法人後見事業受任件数

類型		受任件数(件)
内訳	後見	7
	保佐	8
	補助	2
合計		17

(7) 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進

認知症高齢者等が自立した地域生活を送れるよう、生活支援サービス、金銭管理サービス、書類等預かりサービス等の各種サービスを提供した。

生活支援員の養成等を目的にした、講座はコロナの影響により開催を中止した。

◇サービス利用対象者

- ・認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等で判断能力が不十分な方
- ・虚弱高齢者、身体にハンディがある方で、在宅生活や入院・入所生活で自立した生活が困難な方

<相談対応実績> 令和3年3月31日現在（単位：件）

問合せ	54
初回相談	38
相談援助件数	3,124
合計	3,216

<契約実績> 令和3年3月31日現在（単位：件）

R1 年度契約総数	R2 年度新規契約数	R2 年度解約数	現契約数
81	15	11	85

(8) 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、鹿沼市役所内に設置された「生活相談・支援センター（愛称：のぞみ）」の運営を受託し、相談員4名を配置して、生活困窮に関する各種相談に対応、就労支援や学習支援も合わせて行うことで、対象世帯が生活困窮状態から抜け出せるよう支援した。また、家計相談員を配置し、より幅広い相談に対応出来る体制づくりに努めた。

<相談対応実績> 令和3年3月31日現在

相談件数：512件（うち就労者数：19名）

相談内容	件数(件)
病気や健康	6
住まい	14
収入・生活費	405
家賃やローン	49
税や公共料金支払い	4
債務	3
仕事探し、就職	17
仕事上の不安	3
地域と関係	0
人間関係	3
子育て、介護	0
引きこもり、不登校	3

II. 総合的な福祉事業の推進

DV、虐待	1
食べるものがない	2
その他	2
合 計	512

活動内容			(延件数)
面接	訪問	関係機関同行	プラン作成
1,469	375	189	59

(9) 「子ども食堂ネットワークかぬま」との連携

市内にある子ども食堂で組織する「子ども食堂ネットワークかぬま」定例会へ参加及び各種運営の支援を行った。

- 「東部台こども食堂」オープン・・・令和2年7月11日（土）
※第2,4 土曜日開催

(10) ひきこもり家族会（※コロナの影響により4月～5月、1月～3月は中止）

ひきこもり状態になった本人とご家族を支援するため、家族会を開催した。（単位：名）

	開催日	会 場	参加者数(内関係者)
1	令和2年 6月18日	総合福祉センター	7 (3)
2	令和2年 7月16日	総合福祉センター	11 (8)
3	令和2年 8月20日	総合福祉センター	13 (10)
4	令和2年 9月17日	総合福祉センター	5 (0)
5	令和2年10月15日	総合福祉センター	5 (1)
6	令和2年11月19日	総合福祉センター	5 (1)
7	令和2年12月17日	総合福祉センター	5 (1)
	合計		51 (24)

(11) ひきこもり関連事業への参加

ひきこもり協議会・・・8回実施

(12) 鹿沼市生活再建応援事業

コロナの影響により、生活が困窮した世帯に対する生活福祉資金（特例貸付）の申請世帯を対象に、鹿沼市共通商品券を交付した。（鹿沼市からの委託事業）

基本額 1世帯 50,000円分

加算額 未就学児のいる世帯 3,000円分・小中学生のいる世帯 5,000円分

高校生のいる世帯 10,000円分

交付世帯数 515世帯

交付金額 27,145,000円

うち加算額 未就学児分 80世帯・240,000円 小中学生分 147世帯・735,000円

高校生分 42世帯・420,000円

Ⅲ. 地域福祉活動の推進

地区社協の活動を支援するとともに、地区社協間のネットワークの連携強化を図り、地域における主体的な福祉活動と地域の特色を生かした福祉施策を推進した。

<※当施策は主に会費を財源として実施した>

1. 地区社協の活動支援と連携促進

(1) 第三期地域福祉活動計画の推進

平成 30 年度に策定した第二期鹿沼市地域福祉活動計画（計画年度 H30～R4 年度）に基づき、市内 17 地区の地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会が地域の実情に合った福祉活動を推進した。

コロナの影響もあり、思うような活動が出来なかったが、地域の実情把握などについてコミセン職員と連携を図った。

<補助金交付実績>

地区社協名	主な事業内容	補助金額（円）
板荷地区コミュニティ推進協議会	ボランティア活動推進事業	100,000
中央地区福祉活動推進協議会	ほっとサロン事業	100,000
南摩地区福祉活動推進協議会	サロン事業・環境美化事業	25,000
清洲地区福祉活動推進協議会	ほっとサロン事業	121,930
合 計		346,930

(2) 地域の主体的な活動促進

市内の 17 地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会を対象に、地区社協活動を支援するために助成金を交付したが、コロナの影響で事業を縮小又は中止する地区もあった。

<地区社協への助成金内訳>

地区社協名	例年実施している主な事業	助成金額（円）
北部地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇北小学校交流会	1,016,000
中央地区福祉活動推進協議会	◇高齢者おたのしみ会事業 ◇青少年健全育成	1,210,000
東部地区福祉活動推進協議会	◇青少年健全育成事業 ◇環境美化運動	1,412,000
菊沢地区コミュニティ推進協議会	◇三世代交流事業 ◇友愛訪問	1,569,000
東大芦地区コミュニティ推進協議会	◇ふれあいフェスタ ◇ゲートボール大会	502,000
北押原地区福祉活動推進協議会	◇花いっぱい運動 ◇高齢者サロン事業	1,434,000
板荷地区コミュニティ推進協議会	◇体育祭 ◇ほっとサロンいたが	370,000
西大芦地区福祉活動推進協議会	◇リフレッシュ講座 ◇ふれあいスポーツ大会	276,000

Ⅲ. 地域福祉活動の推進

加蘇地区福祉活動推進協議会	◇高齢者ふれあい事業 ◇ホットサロン事業	425,000
北犬飼地区福祉活動推進協議会	◇ふれあい祭敬老会 ◇そば打ち教室	844,000
東部台地区福祉活動推進協議会	◇健康スポーツ大会 ◇敬老会	1,672,000
南摩地区福祉活動推進協議会	◇なんまサロン ◇ふれあい農園	570,000
南押原地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問 ◇高齢者招待事業	629,000
栗野地区福祉活動推進協議会	◇高齢者サロン事業 ◇敬老会事業	583,000
粕尾地区福祉活動推進協議会	◇地区敬老会事業 ◇ふれあいサロン	358,000
永野地区福祉活動推進協議会	◇世代間交流事業 ◇友愛訪問	341,000
清洲地区福祉活動推進協議会	◇年越しそば配布 ◇世代間交流事業	416,000
合 計		13,627,000

(3) 地区社協間の連携

17地区社協合同連絡会議を予定していたが、コロナの影響により令和2年度会議は書面開催となった。令和3年度には各地区の活動について意見交換会を検討する。

2. 安心生活創造事業(鹿沼市みまもり隊)の受託

高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりを目的に、市内17地区において見守り・相談活動を実施した。また、みまもり隊員向けの研修を実施した。(北部、板荷、北犬飼)

見守り・相談延べ回数(鹿沼市全体)： 47,742回

3. 移送サービス事業

日常生活においてさまざまな事情により、公共交通機関を利用できない市民が、良好な日常生活を送るため各地区のボランティアによる移送サービスを実施した。

地区名	加蘇地区	西大芦地区	南押原地区	栗野地区	粕尾地区	永野地区	清洲地区	合計
ボランティア登録者数(人)	60	252	42	70	60	76	60	620
利用登録者数(人)	60	142	104	122	96	69	29	622
ボランティアによる移送回数(回)	7	30	69	56	57	47	30	296
コミセン職員による移送回数(回)	0	5	1	0	0	0	0	6
延べ運行回数(回)	7	35	70	56	57	47	30	302

IV. ふれあいのまちづくり

コロナ禍においても感染予防対策を図りながらケーブルテレビで福祉講座・ボランティア講座を実施するなど、工夫をしながら市民の福祉育成に努めた。

1. ボランティアの発掘と育成

(1) ボランティア団体等の支援とネットワークづくり

「第19回ふれあいフェスタ in かぬま」の開催支援については、コロナの影響で中止となった。

(2) ボランティア講座の開催と活動促進

あらゆる年齢層を対象とし、幅広いテーマと具体的な体験学習をとおしてボランティア育成に努めた。

①手話講座の開催

講座名		回数 (回)	受講者数 (名) 延べ人数 (名)	備 考
手話講座 (初級)	昼の部 (9/4~)	10	8	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 鹿沼地区手話通訳者連絡会
			73	
	夜の部 (9/4~)	10	8	
			63	
合計		20	136	

②学校での体験学習開催

小中学校からの依頼に応じ、職員が講師となり校内で体験学習を開催した。

日時	学校名	内容	参加者数 (名)
11月11日	鹿沼南高等学校	講話	533
9月10日	南押原中学校	車いす・視覚障がい体験 車いすバスケット、講話	84
10月3日	東小学校 (4年生)	車いす・視覚障がい体験 車いすバスケット、講話	106

③学校での体験学習支援

小中学校、高校のボランティア学習に講師派遣を行い、自主的な学校事業を促進した。

区 分	手話の体験学習	点訳の体験学習
小学校	17校 (66回)	14校 (31回)
中学校	1校 (8回)	3校 (18回)
高等学校	0校 (0回)	0校 (0回)
合 計	18校 (74回)	17校 (49回)

・手話講師…鹿沼地区手話通訳者連絡会及び鹿沼市聴覚障害者協会

・点訳講師…点訳グループ「桐」

IV. ふれあいのまちづくり

(3) ボランティア団体等への支援

① ボランティア団体の運営基盤強化

積極的に活動しているボランティア団体等 14 団体に活動援助金を交付し、運営基盤の強化を図った。

	団体名	援助金該当事業	交付額(円)
1	ボランティアふれあい	高齢者の生きがい活動	85,000
2	栃木県シルバー大学校同窓会鹿沼支部	社会福祉施設への慰問活動（アフリカンダンス）	65,000
3	朗読グループいずみ	会員のスキルアップ研修	40,000
4	デイジーこだま	市広報等のデイジー版製作活動	30,000
5	たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	介護・福祉ボランティア活動（踊り・健康体操等）	45,000
6	介護服リフォーム“ミモザ”	障がい者や高齢者等の衣服リフォーム等	45,000
7	点訳グループ「桐」	視覚障がい者との交流会、点字指導等	100,000
8	お話ボランティアネットワークかぬま	会員のスキルアップ研修、傾聴活動	50,000
9	日本舞踊 西川流宮崎会	福祉施設等で歌や踊りを披露する慰問活動	20,000
10	フラダンスとりあえず	福祉施設への慰問活動	50,000
11	子育て支援クラブレインボー	親子交流活動（のびのびすくすく）	100,000
12	ボランティアグループ春風	芸能活動による高齢者施設等への訪問活動	15,000
13	鹿沼市中途失聴難聴者協会	中途失聴・難聴者のための手話講習会等	43,000
14	要約筆記サークルいちご	聴覚障がい者に PC 等で会議内容を要約する活動	100,000
	合 計		788,000

② 福祉教育学校助成金

児童・生徒の福祉意識の向上や学校の福祉教育への取り組みを推進するために、赤い羽根共同募金を財源とした学校助成金配分金を 8 校に交付した。

	学校名	主な活動内容	交付額 (円)
1	鹿沼市立みどりが丘小学校	福祉体験学習	61,000
2	鹿沼市立栗野小学校	福祉体験学習	98,200
3	鹿沼市立石川小学校	福祉体験学習	100,000
4	鹿沼市立菊沢西小学校	福祉体験学習	61,000
5	鹿沼市立清洲第二小学校	パラリンピック種目の体験	82,500
6	鹿沼市立永野小学校	保育園児への読み聞かせ等 昔遊びでの高齢者と心の交流	31,380
7	鹿沼市立東小学校	富屋分校、福祉施設との交流事業等 福祉体験学習	100,000

8	鹿沼市立南押原小学校	南押原中ボランティア隊活動費 福祉体験用具、図書購入	100,000
合 計			634,080

(4) 福祉機材の貸出

ボランティア等に機材を貸出することにより活動を促進した。

機材名	貸出回数 (回)	機材名	貸出回数 (回)
車椅子	191	着ぐるみ	7
高齢者疑似体験セット(大人)	11	綿菓子機	30
高齢者疑似体験セット(小人)	8	ポップコーン機	30
アイマスク	9	かき氷機	38
白杖	9	焼き芋機	4
パソコン	8	きね・うす	2
スクリーン	25	水槽	1
プロジェクター	24	発電機	6
机	6	ドラムコード	3
椅子	6	クーラーボックス	10
ベンチ	2	テント (1間×2間)	4
ボランティア号(ハイエース)	14	テント (2間×3間)	3
ボランティア号(シエンタ)	11	タープテント	3
ボランティア号(ラクティス)	2	合計	467

(5) 善意銀行の運営

ボランティア活動の調査研究や情報提供を行うとともに、預託いただいた金品の払出しにより、団体等の活動基盤を強化した。

<預託金品取扱実績>

(単位：件、円)

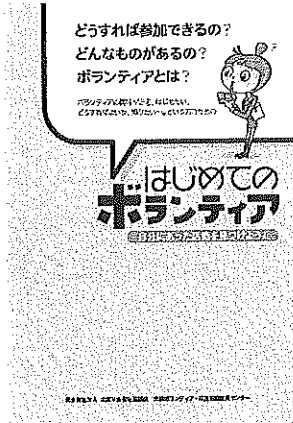
払出し先	元年度繰越金	2年度預託		2年度払出		次年度繰越金
		件数	金額	件数	金額	
指 定 な し	1,890,926	47	1,229,874	1	788,000	2,332,800
社会福祉団体	0	38	1,629,014	38	1,629,014	0
預 金 利 息	0	2	26	2	26	0
合 計	1,890,926	87	2,858,914	41	2,417,040	2,332,800
物 品	使い捨てマスク (2,000 枚) 鶏モモ肉 12 kg 次亜塩素酸水 20ℓ ミックスチョコレート 6 kg 米 330 kg タオル 119 本 菓子 70 kg 味付きのり コンサートチケット 100 枚 テレホンカード 180 枚		こども食堂ネットワークかぬま、児童養護施設ネバーランド、県立盲学校、フードバンク事業、市内高齢者施設、市内民間保育園、生活困窮者			

IV. ふれあいのまちづくり

2. ふれあいの心の育成

(1) ボランティア活動の育成と福祉啓発の促進

あらゆる世代がボランティア活動に参加し、福祉への関心や理解を深めることができるように「はじめてのボランティア（自分にあった活動を見つけよう!）」のパンフレットを作成した。



(2) 「CAMP CAMP ちゃんねる」配信スタート

ユーチューブを利用した情報発信を行った。15本の動画を配信し、約30,000回の再生回数を達成。チャンネル登録者数は約600名。

アウトドア関連の動画を通し、災害時に役立つアウトドアの知識を身に着けること、ボランティア同士の横のつながりを作ることを目的としている。



(3) 各種相談・連絡件数

市民が地域で安心して暮らせるように、貸付、あすてらす、成年後見制度等に関する各種相談事業を実施した。

<相談・連絡実績>

(単位：件)

事業名	社会福祉金庫	生活福祉資金	あすてらす	成年後見制度	合計
相談延件数	27	1,331	3,216	958	5,532

V 災害対策事業

令和元年東日本台風被害における鹿沼市災害ボランティアセンターの活動について検証・評価を行い、「鹿沼市災害ボランティアセンター活動マニュアル」を改定した。また当時の災害の記録を継承するための災害ドキュメンタリー番組を制作しケーブルテレビで放送した。その他、災害支援のための募金運動をボランティアや青年会議所と協働で実施した。

1. 鹿沼市災害ボランティアセンター活動マニュアルの改定

令和元年東日本台風の被害における、地域住民の災害復旧・復興支援のため鹿沼市災害ボランティアセンターを約2ヶ月間運営したが、令和2年度はその活動の検証・評価を行い活動マニュアルの改定を実施した。

(1) 名称「鹿沼市災害ボランティアセンター活動マニュアル」

(2) 主な改正点

- ① 災害時には法人全体として取り組む
- ② 被災者中心・地元主体・協働の原則の明確化
- ③ 生活再建における生活面及び精神面への寄り添い

(3) 主な配布先

鹿沼市役所、栃木県社会福祉協議会、市町社会福祉協議会、足立区社会福祉協議会、鹿沼市ボランティア連絡協議会、チームかぬま、宇都宮大学、ひのきしん隊、ユナイテッドアース、日本財団、GAKUVO、モーターボート選手会、ぽぼら、下野新聞社

2. 令和2年7月豪雨災害(九州地方)の対応

令和2年7月に集中した九州地方の豪雨災害について支援を行った。

(1) 被災地支援の募金運動の実施

「現地には行けないがなにか自分たちにできることはないか」という市民の気持ちにこたえるため、被災地支援を目的とした募金運動を鹿沼ケーブルテレビで呼びかけた他、鹿沼青年会議所等を通じて市内の協力店に募金箱を設置した。

① 協力団体等（放送）

鹿沼ケーブルテレビ、鹿沼市ボランティア連絡協議会、ボーイスカウト鹿沼1団・4団

② 協力店等（募金箱設置 募金額合計 105,108円）

鹿沼青年会議所、ヤマト写真館、中條商店富岡店、Hug、ヘアサロンサイトウ、割烹きたやま、黒田養蜂店、HoneyB、DolceMile、天狗屋、ふりいふらいと、つくも薬局（西茂呂店、上殿店、ヤオハン北部店）、マツヤ、アカリチョコレート、アンジェル洋菓子店、D-cat

(2) 被災地支援の物資の提供

熊本県球磨村で活動している被災地NGO協働センターが現地で炊き出しを行った活動に対し、チームかぬまより玄米の提供を受け、社会福祉協議会が現地へ物資の郵送を行った。

① 協力団体

災害ボランティアグループ チームかぬま

② 提供物資

玄米 120kg

③ 備考

令和2年8月24日及び令和2年10月5日の2回に分けて提供した。

3. 研修・会議等への参加

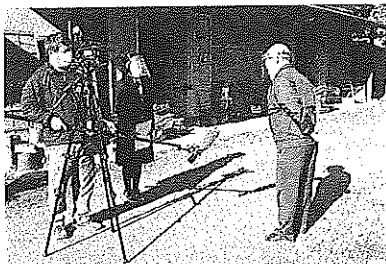
職員の資質向上と参加によるネットワークの構築を目的として、各種研修・会議等に参加した。

- ①災害ボランティアセンター運営研修会（主催 全国社会福祉協議会）
参加日 3月23日 オンライン研修
- ②とちぎ災害支援のあり方検討会（主催 栃木県社会福祉協議会）
参加日 4月22日 8月24日、11月19日、2月12日、3月11日
- ③災害ボランティアネットワーク会議（主催 栃木県社会福祉協議会）
とちぎ市町社協災害支援担当者連絡会議
参加日 7月27日

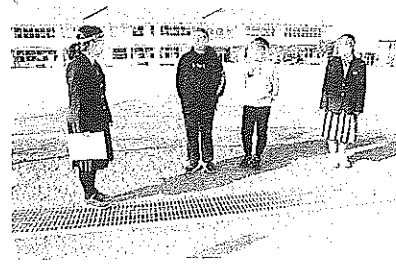
4. 災害の記録と継承

令和元年東日本台風の被害により、鹿沼市も栗野4地区を中心に甚大な被害を受けた。災害当時、地域住民・自治会長・民生委員等のそれぞれの方が何を想い、どう行動し、どう対応したかを地元の高校生が問いかけた。被災した住民から見た地域を災害の映像と地元の人の声をカタチにして発信することで、地域だけではなく鹿沼市全体で共有し次の世代へ繋げていくための災害ドキュメンタリー番組を制作し鹿沼ケーブルテレビで放送した。

- ①番組名
令和元年東日本台風鹿沼市災害ドキュメンタリー番組「災害の記憶、未来につなごう」
- ②放送期間
令和3年2月16日（火）～2月22日（月）
午前9時～午後6時30分～ ※1日2回放送
- ③協力者
インタビューアー
鹿沼高等学校 小笠原歩未さん 福田真生さん
インタビューイー
横尾光夫様（なか町自治会長） 大毛ますゑ様（上粕尾）
浅野正子様（栗野地区民生委員児童委員） 高橋敏子様（永野地区民生委員児童委員）
高嶋良江様（口栗野） 荒井勝美様（上永野自治会長）
青木美智子様（清洲地区民生委員児童委員） 丸山信昭様（久野自治会長）
坂田文夫様（久野）
清洲第一小学校 大貫竣汰さん 矢野慶輔さん
栗野中学校 井戸花さん （順不同）
- ④制作
鹿沼市社会福祉協議会
鹿沼ケーブルテレビ
- ⑤その他
鹿沼市社会福祉協議会公式 Youtube チャンネルにも番組を公開中。



◇会長のインタビューの様子



◇清洲第一小学校での撮影の様子

VI. 介護と自立支援

介護保険指定事業者として常に質の高い在宅サービスの提供に心がけ、各種介護保険事業を推進した。また、新型コロナウイルスが感染拡大する中、感染予防に努めながら介護予防・自立支援事業に取り組み、ねたきりや要介護状態への進行を防止するなど高齢者の住み慣れた地域での自立した生活を支援した。さらに障がい者のための居宅介護事業を推進した。

1. 介護保険事業の推進

(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）

介護保険利用希望者への総合相談、サービス利用に際しての支援計画（ケアプラン）策定、さらに高齢者支援センター（地域包括支援センター）から介護予防ケアプラン作成を受託するなど、サービス内容を総合的にコーディネートした。また、鹿沼地区介護支援専門員連絡会運営委員として積極的に活動し情報の収集に努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ回数）
居宅介護支援	839
介護予防支援	159
合 計	998

【参考資料 P29】

<介護区分別実利用者数>

令和3年3月31日現在（単位：名）

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
0	8	13	24	23	17	10	3	98

(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

幅広い分野に渡る生活支援と土・日・祝日や時間外の対応など、利用者のニーズに即したサービスを提供した。また、利用者の生活意欲の向上と残存機能を生かしたサービス提供など、予防介護に努めた。さらに、サービス担当者会議等をとおり、関係機関との連携とより質の高いサービスの研鑽・提供に努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ回数）
介護支援	2,109
介護予防支援	943
合 計	3,052

【参考資料 P29】

<介護区分別実利用者数>

令和3年3月31日現在（単位：名）

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	7	10	6	8	3	2	0	36

(3) 通所介護事業（デイサービス）

コロナの影響に伴い、利用回数の減少及び利用中止が増えたが、感染防止対策をした新しいイベントを取り入れ、今まで以上に利用者が楽しく過ごせるよう試みた。

また、少しでも自宅で自立した生活ができるように、家族の負担を軽減できるようなサービスを継続的に行えるよう努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数(延べ回数)
介護支援	1,205
介護予防支援	303
合 計	1,508

【参考資料 P29】

◇年間実施日数.....250日

◇1日あたりの平均利用者...6.0人

◇協力ボランティア数.....個人数：1人

散髪サービスのみ（年間実施回数 23回 利用者59名）

<介護区分別実利用者数>

令和3年3月31日現在（単位：名）

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	1	5	4	6	4	2	0	22

2. 在宅介護支援センターの運営

要介護高齢者やその家族のニーズに対応した各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるような様々な情報の提供を行い、在宅介護をして行く上での問題解決を図った。

<相談対応実績（延人数）>

令和3年3月31日現在（単位：名）

介護相談	医療相談	介護家族健康相談	保健福祉サービス	住宅改修相談	介護機器相談	介護保険相談	合計
38	9	2	1	2	9	3	64

3. 障がい福祉サービス事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がい者が地域で安心して暮らせるよう関係機関と連携を密にし、生活意欲を引き出し、残存機能を生かし自立した日常生活が営むことができるよう支援をした。

(1) 居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障がい者宅にホームヘルパーが訪問し、身体介護や家事援助、生活に関する相談及び助言などを行った。

令和3年3月31日現在

実利用者数（名）	利用回数（回）
居宅介護等	518
同行援護	194

VI. 介護と自立支援

(2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

本人や家族の希望する生活の実現や目標達成に向けての相談、また障がい福祉サービスを有効に活用するためにサービス等利用計画を作成した。さらに鹿沼市自立支援協議会相談支援部会や県西圏域連絡会に参加し、情報の収集や相談支援技術の向上に努めた。なお、今年度初めて障害児と契約し、利用計画を作成した。

令和3年3月31日現在

サービス名	実利用数 (件)
指定特定相談支援	65
指定障害児相談支援	1

Ⅶ 養護老人ホーム千寿荘の運営

利用者それぞれに応じた個別支援計画を策定し、きめ細やかな支援に努めた。この一年間は、コロナ禍のため、地域や社会との交流を十分に行うことが出来なかった。そのため、敷地内の整備をし、花やキノコなどを植え、利用者が楽しめるようにし、心身の健全に努めた。また、明るく家庭的な雰囲気の中での行事やレクリエーション、クラブ活動にもより一層、力を入れた。虐待や身元不明の高齢者を一時的に保護する高齢者緊急一時避難対応室運用事業は、1名の利用があった。その後、当施設に入所となった。4期目の指定管理受託施設として、効率的な管理運営を行うことが出来た。

(1) 利用者の状況

- ◇利用者数 45名 令和3年3月31日現在
- ◇年間異動者数 20名（新規入所10名、退所10名）
- ◇高齢者緊急一時避難対応室運用事業利用者 1名

月別利用者内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者 (定員60名)	45	45	45	45	48	49	47	47	45	44	45	45
緊急一時避難者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

(2) 年間行事実績

月	日	行事内容	利用者参加者数
4月	2日	花見会	全員
6月	5日	やちよ会奉仕作業（空き缶・ゴミ拾い）	5名
	25日	お楽しみ会（宇都宮餃子会 出前会）	全員
7月	30日	納涼祭（利用者家族 5名）	全員
9月	3日	敬老式（歌謡ショウ：かぶき村）	全員
10月	29日	日帰りドライブ（市内）	3名
11月	6日	やちよ会道路清掃	10名
12月	3日	鹿沼そば商組合手打ちそば提供	全員
	9日	焼き芋会	全員
	24日	クリスマス会・忘年会	全員
1月	7日	新年祝賀会	全員
2月	2日	節分豆まき	全員

(3) 地域等との交流

◇今年度は、コロナ感染予防のため、市内の幼稚園・保育園、小中学校及び高校生との交流や受け入れ等を行うことが出来なかった。また、例年地域老人と共に行っている交流会も開催することが出来ず、施設の状況を地域に知ってもらい連携を深めることもままならなかった。一般のボランティア団体等の訪問・交流もできない状況だった。新年度につきましてもコロナの感染状況を注視しながら、適切に事業を実施する。

VIII 障害者支援施設やまびこ荘の運営

利用者一人ひとりの個性と能力に沿った支援を行ない、高齢化に伴う支援を加え利用者が安全に楽しく生活できるよう余暇支援の充実を図った。また、心身ともに健康な生活が営めるよう利用者の健康維持及び体力増進にも努めた。

さらに、公的施設としての役割を認識し事業を展開するとともに、職員の資質向上及び資源の有効活用を図り、効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用者の状況(令和3年3月31日現在)

生活介護・施設入所支援	短期入所	生活介護(通所)	地域活動支援センターII
定員 30名	定員 6名	定員 10名	定員 5名
利用者数 25名	実利用者数 2名 (延利用数 596回)	実利用者数 6名 (延利用数 681回)	実利用者数 2名 (延利用数 221回)

(2) 年間行事実績

月日	行事内容	参加者数(名)
4月 2日	お花見(やまびこ荘敷地内)	29
	16日 吉野家牛丼会食(利用者希望献立)	26
5月 20日	鹿沼市長選挙期日前投票	10
6月 21日	総合避難訓練	27
	28日 野外食事会	27
7月 13日	なゆた庵そば会食(利用者希望献立)	24
	17日 やまびこ祭り(保護者役員のみ)	23(保護者9)
8月 30日	旬畑ブルーベリー会食	26
10月 15日	シルバー大学校鹿沼支部ボランティア(草取り)	3
	15日 はま寿司会食(利用者希望献立)	2
	23日 総合避難訓練(消防立会い)	26
	27日 衣類販売	23
	30日 シルバー大学校鹿沼支部ボランティア(草取り)	9

11月	10日	朗読グループいずみ(5名)	28
	10日	栃木県知事期日前投票	3
	19日	龍鳳苑ラーメン・チャーハン会食(利用者希望献立)	28
	19日	紅葉見学(一班、二班)	12
	20日	紅葉見学(三班)	6
	25日	シルバー大学校鹿沼支部ボランティア(よさこい)	10
12月	3日	そば商組合訪問	7
	8日	まさし餃子会食(利用者希望献立)	30
	17日	うな重会食(利用者希望献立)	28
	22日	マクドナルドハンバーガー会食(利用者希望献立)	30
	24日	クリスマス会	27
令和3年			
1月	22日	新年祝賀会 割烹きたやまステーキ弁当会食(利用者希望献立)	28
2月	16日	日晷そば寿司セット会食(利用者希望献立)	29
3月	18日	魚べい寿司会食(利用者希望献立)	28
	26日	職員お別れ会	28
	31日	職員お別れ会	30
例月ボランティア		東芝ライテックユニオン(誕生者へカードや花プレゼント)、ボランティアいずみ(紙芝居ほか)、かぬま文化・スポーツ振興財団(健康体操)、日本生命保険相互会社(一輪挿し生け花)、各種団体余暇ボランティア(カラオケ、フラダンス、マジックショーほか)	
定期行事		◇地域奉仕活動(空き缶ごみ拾い)年4回実施 ◇嘱託医往診、理髪、体重・血圧測定 ◇誕生会 ◇週間行事打合せ、支援会議、献立会議、一斉清掃、避難訓練	

(3) 保護者との連携

保護者会(総会、役員会、懇談会)を通し、保護者との連携を深めた。また、保護者会から「コロナ感染症対策の徹底と外部からの交流が減った分を食事の充実で補って欲しい」との要望もあり利用者の希望に沿った各種のテイクアウト等を実施し、気分向上を図った。

参考資料

1. 会費（年度別状況）
 2. 総合福祉センターの利用状況
 3. 社会福祉大会表彰受賞者（鹿沼市社会福祉大会、栃木県民福祉のつどい）
 4. 関連ボランティア
 5. 共同募金の状況
 6. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
 7. 障がいサービスの提供状況
 8. 高齢者福祉センター利用者状況
-

IX. 高齢者福祉センターの運営

高齢者一人ひとりが明るく希望をもち、個性を活かしながら生きがいのある健康的な生活を送れるよう、だれもが気軽に参加できる自主事業をはじめ、自動血圧計による健康チェック、教養の向上、さらに機能回復に向けた団体支援を総合的に提供した。

(1) 年間利用状況

開所日数	利用者数	利用料収入
257 日	22,192 人 (1 日平均 86 人)	3,761,700 円

※ 利用者内訳

60 歳以上 (市内)	60 歳以上 (市外)	中学生～ 60 歳未満	小学生・ 障害者	無料利用者	利用者合計
18,378 人	0 人	540 人	1,960 人	1,314 人	22,192 人

【参考資料 P30】

(2) 自主事業の開催

各種の教養講座や健康管理を進めることで高齢者の生きがいづくりや身体機能の維持向上を図った。

内容	開催回数 (回)	参加者数 (延べ人数)
健康体操講座	10	84
いきいき体操講座	10	142
らくらくヨガ講座	10	87
切り絵に挑戦講座	10	99
サプライズイベント	3	330
合 計	43	742

(3) 施設の有効活用

教養講座の修了者や老人クラブ等の各種団体の活動拠点として、さらに高齢者の健康づくりの拠点として当施設の有効活用を図った。

内容	開催回数 (回)	参加者数 (延べ人数)
自主クラブの利用	30	308
機能回復訓練の実施	7	68
合 計	37	376

(4) 改良、改善への取組み

・お楽しみ会の代替として、季節に合わせたサプライズイベント (ハロウィン、クリスマス、お雛様等) を企画し、利用者を楽しんでいただいた。

1. 会費(年度別状況)

会費区分	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	口数
普通会費 1口 500 円	21,047	10,626,656	20,434	10,224,198	20,112	10,052,290	19,527	9,760,322	19,505	9,768,415
賛助会費 1口 2,000 円	96	192,000	102	204,000	68	136,000	70	140,000	73	146,000
特別会費 1口 3,000 円	44	132,000	44	132,000	43	129,000	28	85,000	30	90,000
団体会費 1口 5,000 円	72	360,000	79	395,000	83	415,000	80	400,000	113	565,000
合 計	21,259	11,310,656	20,659	10,955,198	20,306	10,732,290	19,705	10,385,322	19,721	10,569,415

2. 総合福祉センターの利用状況

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延べ件数 (件)	1,612	1,360	1,287	1,272	893
延べ人数 (人)	11,536	11,687	10,999	11,098	5,224

3. 社会福祉大会表彰受賞者

(順不同・敬称略)

(1) 第 47 回鹿沼市社会福祉大会

①大会会長表彰受賞者

区 分	氏 名		
社会福祉功労者・団体	小林 福代	瀬端 朱美	上澤 邦子
	和田 和子	寺内 常夫	宮崎トク子
	樫淵きみ子		
	西鹿沼町自治会 シルバーサロン	南摩ふれあいサロン (なかよし会)	亀和田町自治会 サロン
	北赤塚サロン	藤江自治会サロン	

②大会会長感謝状受贈者

区 分	氏 名		
社会福祉推進者	鈴木 昇	佛田 博	岩本 治美
	鈴木 貢	秋澤 久	善林 栄
	大谷 順一	須藤 宏	瓦井 圭一
	矢口 洋美	和久井 保	井上 勝美
	中田やす子		
篤行者・団体	奈良部 實	田谷 好史	菊地 正光
	中・入栗野むらづくり 推進協議会	株式会社 日晃	株式会社 安田測量
	鹿沼木工団地 共同組合		

(2) 第26回栃木県民福祉のつどい

① 栃木県知事表彰

区 分	氏 名		
老人クラブ又は老人クラブ活動功労者	日光奈良部福寿会		
共同募金運動協力団体又は協力者	石塚 武		
民生委員・児童委員	大和 恵	金子 俊子	青木 栄子
	根本 順子	新田登久子	荻原 良生
	福田 光子	石川眞由美	大久保 操
	池澤 榮子	高橋 敏子	金子カヅ子
社会福祉施設・団体又はその従事者	野口 睦		
国民健康保険事業功労者	伊藤 茂樹		
ボランティア	鹿沼市ボランティア連絡協議会		
難病支援功労者	川田 昇		

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰

区 分	氏 名		
社会福祉施設・団体関係功労者	原田 晋悟	飯塚 雄太	中野由美子
	古澤 久恵	青木 雄司	鮎田 好浩
	駒場 和美	新村 里美	星野 里美
	水嶋 浩紀	根本 英昭	中島ゆかり
	大森美友紀	大橋 美保	根本ゆき子
	古澤くらら	星野かおり	福田 有紀
	北村 奈美	高木 愛	田中 恵美子
	大貫 朝子	高瀬 静江	湯澤 雅子
	亀山 久子	芳賀 明美	巖上 則子
	根本 里佳	木村 恵子	若林恵美子
	佐々木真理子	阿部 隆子	松島 恵美
	橋本美香子	鈴木 千枝	江波戸友紀
	小林 京子	松本 雅代	寺内 陽子
	安生美智子	渡邊 昌代	福田 純子
	鮎川 公子	赤羽根寿子	森田 聡美
	斎藤 典子	清水 典子	岩本 裕子
	大貫 修子	渡邊 敦子	麦倉 和子
	石川 克子	天海 周子	猪股 典子
	池田 美智	潮田 訓子	奈良部友紀
	毛束 裕子	野中 昌枝	阿部 祐恵
市田 真里	高橋 典子	野中扶路穂	
渡邊絵里香	渡邊 幸乃	宇賀神文菜	

参考資料

	大島 真里	近藤 泰子	須永美佐恵
	松本 早苗	萩原 菊代	山野井ひとみ

③栃木県共同募金会会長表彰

区 分	氏 名		
共同募金功労者	柳田 光彦	善林 栄	高橋 一元
自立更生者	中田はつ江		
更生援護功労者	中村アイ子		

4. ボランティアセンター登録団体

No.	名 称	主な活動内容
1	まぎあぐらす	絵本見せ語り・人形劇の定期公演
2	水の輪会	精神保健ボランティア
3	ボランティアみなみ	特養ホーム・独居老人との交流
4	鹿沼地区手話通訳者連絡会	手話通訳・聴覚障害者との交流
5	ふみの会大正琴	福祉イベント等への参加
6	鹿沼そば商組合	地域福祉活動
7	お話ボランティアネットワークかぬま	独居老人等の話し相手
8	介護服リフォーム“ミモザ”	高齢者・障害者への服飾支援
9	点訳グループ「桐」	点訳ボランティア、視覚障害者との交流
10	ボランティアグループ「あつた会」	高齢者住居周りの修繕活動
11	ボランティアふれあい	特別養護老人ホーム奉仕
12	要約筆記サークルいちご	要約筆記ボランティア活動
13	朗読グループ「いずみ」	朗読ボランティア、視覚障害者との交流
14	おはなし会“ノア”	絵本・紙芝居・手遊び・歌遊び・工作
15	ボランティアグループ春風	舞踊、唄、三味線
16	フラダンスとりあえず	福祉施設慰問、地域イベント活動
17	栃木シルバー大専校同窓会鹿沼支部	社会奉仕活動
18	NPO 傾聴ボランティアチーム“ありのまま”	傾聴ボランティア
19	ボーイスカウト鹿沼第1団	福祉施設慰問、社会奉仕活動
20	ボーイスカウト鹿沼第4団	福祉施設慰問、社会奉仕活動
21	立正佼成会鹿沼教会	社会奉仕活動
22	たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	福祉施設慰問、社会奉仕活動
23	子育て支援サークルレインボー	子育て相談、体操等、絵本の読み聞かせ等
24	災害ボランティアチームかぬま	被災地支援、市内各種ボランティア活動
25	絵本とおはなしの会	絵本の読み聞かせ
26	鹿沼市中途失聴・難聴者協会	中途失聴・難聴者に関連する活動
27	宮崎会	歌・踊り、福祉施設慰問
28	デイジーこだま	視覚障がい者への情報提供(デイジー製作)
29	にほんご FC	外国籍市民の日本語学習等
30	鹿沼精神保健福祉会(鹿沼やしお会)	精神保健の相談等
31	ボランティア「きよす」	高齢者サロン、小学生の登下校見守り等

5. 共同募金の状況

(単位：円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
A 募金	4,866,000	4,748,000	4,464,000	4,727,000	4,156,000
B 募金	11,135,000	10,709,000	10,562,000	9,577,000	7,958,200
合 計	16,001,000	15,457,000	15,026,000	14,304,000	12,114,200

A 募金：第 1 種社会福祉事業、更生保護事業、保育園を運営する事業、全県的に活動している福祉団体等の事業に配分されるもの。

B 募金：第 2 種社会福祉事業、市町を単位とする社会福祉協議会の地域福祉推進事業に配分されるもの。

6. 介護保険事業の各種サービスの提供状況

サービス内容		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
		実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)
ケアプラン作成	介護	98	945	73	888	105	839
	予防	16	153	13	165	28	159
ホームヘルプ	介護	22	3,003	22	2,353	19	2,019
	予防	20	1,204	15	1,056	17	943
デイサービス	介護	32	1,968	16	1,785	24	1,205
	予防	4	204	5	358	7	303

7. 障がい福祉サービスの提供状況

サービス内容	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)
居宅介護等	6	494	6	460	8	518
同行援護	10	255	11	257	9	194
指定特定相談支援	33	66	42	※258	66	※392

※回数の増加の原因は、令和元年より国の【モニタリング実施標準期間】の見直しで、支援の必要性の観点からモニタリングの質を高める取り扱いとなったため

8. 高齢者福祉センター利用者状況

利用者数累計表

(単位:人)

区分	市内(有料)利用者						市外(有料)利用者				無料利用者			利用者合計 ④①+②+ ③	開所日数⑤	1日平均 利用者数 ④÷⑤				
	60歳以上		60歳未満		身障者・小学生		市内計①		市外		キャンパ場		市外計②				未就学児他	免除(条8)	無料計③	
	60歳以上	60歳未満	身障者・小学生	市内計①	市外	キャンパ場	市外計②	無料計③												
12~17年度	500,498	107,029	51,566	659,093	35,722	/	35,722	50,028	744,843	1,808	412.0									
18年度	69,144	12,540	10,615	92,299	3,110	/	3,110	8,594	104,003	301	345.5									
19年度	67,798	11,437	9,978	89,213	2,684	/	2,684	7,620	99,517	302	329.5									
20年度	68,380	11,543	10,675	90,598	2,785	/	2,785	8,180	101,563	304	334.1									
21年度	68,749	9,482	10,033	88,264	2,657	/	2,657	8,716	99,637	302	329.9									
22年度	63,634	5,166	7,706	76,506	2,245	4,766	7,011	3,109	88,081	291	302.7									
23年度	55,889	4,109	7,244	67,242	1,968	4,171	6,139	2,996	77,655	295	263.2									
24年度	62,896	3,664	8,332	74,892	2,303	4,556	6,859	2,596	85,775	313	274.0									
25年度	63,052	3,377	8,248	74,677	2,166	4,777	6,943	2,443	85,495	314	272.3									
26年度	67,442	3,335	7,425	78,202	2,376	4,929	7,305	3,130	90,282	313	288.4									
27年度	64,094	7,400	9,153	80,647	2,528	/	2,528	3,573	88,192	301	293.0									
28年度	62,810	7,772	9,440	80,022	4,681	/	4,681	2,588	88,730	307	289.0									
29年度	57,060	7,114	8,154	72,328	5,274	/	5,274	2,087	80,893	282	286.9									
30年度	60,145	7,080	8,008	75,233	7,336	/	7,336	3,207	86,846	302	287.6									
元年度	54,329	6,606	6,829	67,764	7,810	/	7,810	5,444	82,049	283	289.9									
2年度	18,378	540	1,960	20,878	0	/	0	1,294	22,192	257	86.4									
合計	1,404,298	208,194	175,366	1,766,980	85,645	23,199	108,844	115,605	2,003,561	6,275	307									

※ 12~21年度については、キャンパ場利用者を区別して集計していない。同様に、小学生未満の児童についても、区別して集計していないので、免除(条8)区分に含まれる。

※ 27年度より、市外料金及びキャンパ場利用者区分を廃止した。

